

金澤庄三郎

かねざわ しょうざぶろう

言語學者・國語學者、文學博士。明治五年五月七

日東京生れ、昭和四年一月六日没（八七—一九七）。號濯足菴、無

得居士。第二高等學校を経て、明治二十九年帝國大學文科大學博言學

科卒。大正十一年國學院大學教授、のち駒澤大學教授、戦後鶴見女子

短期大學教科長。朝鮮學會顧問。國語と東洋語、特に朝鮮語との系統

關聯を研究。また國語辭典『辭林』、『廣辭林』も編纂。

譯書に『ダルヌステツテル等』、『ことばのいのち』(編、訂正再版・明治

二十一年四月十八日富山房)、マクス、シエーラー著『言語學』(後

藤朝太郎共譯、上巻・明治二十九年十一月二十一日博文館、帝國百科

全書)等。著書に、『日韓兩國語同系論』(明治四十二年一月二十日

三省堂書店)、『國語の研究』(明治四十二年十一月五日同文館)、

『朝鮮書籍目録』(編、明治四十四年二月序、無刊記)、『カード讀

史年表』(大正二十一年十一月十三日廣文堂書店)、『言語の岐じたる原

人の思想』(大正九年六月二十五日大鏡閣)、『日鮮同祖論』(昭和

四年四月十五日江書院。再刊・十八年五月十五日汎東洋社、『日鮮

同祖論—ヤマト・カラ交流の軌跡』五十二年十一月二十七日成甲書房

『東アジア叢書』)、『新羅の片假字』(比較國語學史の一節)、『昭

和七年十一月五日金澤博士還曆祝賀會)、爾後創元社版『亞細亞研究

叢書』(『茶—世界飲料史の研究』昭和二十一年十一月十日刊、『漢

字と字』十一月二十五日刊、『崑崙の玉』二十二年五月十五日刊、

『地名の研究』二十四年五月十日刊)等がある。